

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り。

でん粉の需給見通し

【令和元でん粉年度（見込み）】

需要量：257万6000トン（前年度比3.0%減）

供給量：260万5000トン（同2.5%減）

【令和2でん粉年度（見通し）】

需要量：264万トン（同2.5%増）

供給量：267万2000トン（同2.6%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		平成30でん粉年度 （実績）	令和元でん粉年度 （見込み）		令和2でん粉年度 （見通し）				
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,772	823	910	1,733	814	938	1,752	
	化工でん粉	328	154	142	296	160	155	315	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	557	259	288	547	278	295	573	
	合計	2,656			2,576			2,640	
供給	前年度繰り越し	12			14			29	
	国産いもでん粉（生産量）	197	206	—	206	208	—	208	
	かんしょでん粉	27	28	—	28	31	—	31	
	ばれいしょでん粉	170	178	—	178	178	—	178	
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,295	1,067	1,149	2,216	1,085	1,176	2,262
	輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	141	68	71	139	71	71	142	
	輸入でん粉（その他用）	9	6	7	13	7	8	15	
	小麦でん粉	17	8	8	16	8	8	16	
	合計	2,671			2,605			2,672	
	次年度繰り越し	14			29			33	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和2年10月～令和3年3月 (見込み)			令和3年4月～9月 (見通し)			令和2でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	6	8	14	17	27	44	22	35	57
		化工でん粉	1	11	12	1	16	16	2	26	28
		その他	5	19	24	5	23	28	10	42	52
		小計	12	38	50	22	66	88	34	103	137
	その他の用途	0	30	30	0	38	38	0	68	68	
	計	12	67	80	22	103	125	34	171	205	
供給	前期からの繰り越し	6	23	29	24	133	158	6	23	29	
	生産量	31	178	208	0	0	0	31	178	208	
	計	37	201	238	24	133	158	37	201	238	
次期への繰り越し			24	133	158	2	30	33	2	30	33

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

(1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

【糖化用向けでん粉の需要量】

令和元でん粉年度は、前年度からわずかに減少の見込み

令和元でん粉年度は、上期は、冷菓や酒類向けの販売数量が前年を上回って推移したことなどから前年度比1万9000トン増、下期は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による外出自粛などの影響により、清涼飲料向けの販売が減少していることなどから、同5万7000トン減と見込まれ、年度計では前年度を3万9000トン下回る173万3000トンと見込まれる。

2でん粉年度は、COVID-19による外出自粛などの影響により、引き続き清涼飲料向けの需要減退が懸念される一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催による清涼飲料向けの需要の増加も想定されることから、近年の需要がおおむね維持されるとし、前年度を1万9000トン上回る175万2000トンと見通している。

【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

令和元でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少の見込み

令和元でん粉年度は、情報・広告分野を中心とした電子化の影響などにより、製紙・段ボール向けの需要が減少していることなどから、前年度を3万2000トン下回る29万6000トンと見込まれる。

2でん粉年度は、COVID-19による外出自粛などの影響により、麺類などの外食向けや土産向けの板紙などの需要減退が懸念される一方、東京オリンピック・パラリンピック開催によるパンフレットや雑誌などの増刷による需要増加も想定されることから、近年の需要がおおむね維持されるとし、前年度を1万9000トン上回る31万5000トンと見通している。

【その他用途向けでん粉の需要量】

令和元でん粉年度は、前年度からわずかに減少の見込み

令和元でん粉年度は、COVID-19による外出自粛

などの影響により、外食産業用に供するビールや食品向けの需要が減少していることなどから、前年度を1万トン下回る54万7000トンと見込まれる。

2でん粉年度は、COVID-19による外出自粛などの影響により外食産業向けの需要減退が懸念される一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催による外食産業向けの需要などの増加も想定されることなどから、近年の需要がおおむね維持されるとし、前年度を2万6000トン上回る57万3000トンと見通している。

(2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

【かんしょでん粉の生産量】

令和元年産は、前年からやや増加

令和元年産の原料かんしょについては、サツマイモ^{もとぐさ}腐病が鹿児島県内の5割のほ場で確認されるなどにより生産量の減少が懸念されたものの、近年の焼酎需要の減少により、焼酎用からでん粉用に仕向けられるかんしょが増加したため、かんしょでん粉の生産量は、前年を1000トン上回る2万8000トンと見込まれる。

2年産については、COVID-19による外出自粛などの影響により、焼酎需要のさらなる落ち込みが懸念され、でん粉原料用に仕向けられるかんしょの増加が見込まれることから、かんしょでん粉の生産量は前年を3000トン上回る3万1000トンと見通している。

【ばれいしょでん粉の生産量】

令和元年産は、前年からやや増加

令和元年産の原料ばれいしょについては、生育期間全般において天候に恵まれ、いもの肥大が良好であったため、ばれいしょでん粉の生産量は前年を8000トン上回る17万8000トンと見込まれる。

2年産については、前年並みの作付面積が見込ま

れることなどから、ばれいしょでん粉の生産量は前年並みの17万8000トンと見通している。

【コーンスターチの供給量】

令和元でん粉年度は、前年度からやや減少の見込み

令和元年産（2019年産）は、COVID-19による外出自粛などの影響により、コーンスターチなどから製造される異性化糖の主な用途である清涼飲料の需要減少が見込まれることから、元でん粉年度の供給量はでん粉ベースで前年度を7万9000トン下回る221万6000トンと見込まれる。

2年産（2020年産）は、COVID-19による外出自粛などの影響により、清涼飲料向けの需要減退が懸念されるものの、東京オリンピック・パラリンピックの開催により、清涼飲料向けの需要増加が予想されることから、前年度を4万6000トン上回る226万2000トンと見通している。

【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用）

令和元でん粉年度は、前年度からわずかに減少の見込み

令和元でん粉年度は、COVID-19による外出自粛などの影響により清涼飲料向けの販売が減少していることなどから、前年度を2000トン下回る13万9000トンと見込まれる。

2でん粉年度も、COVID-19による外出自粛などの影響により、引き続き清涼飲料向けの需要減退が懸念される一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催による清涼飲料向けの需要増加も想定されることから、近年の需要に応じた輸入がなされるとし、前年度を3000トン上回る14万2000トンと見通している。

【輸入でん粉の供給量】（その他用）

令和元でん粉年度は、前年度から大幅な増加の見込み

令和元でん粉年度は、タピオカでん粉の主要輸出国であるタイにおいて、タピオカでん粉の価格が低下し、タピオカでん粉の輸入量が増加傾向にあることから、前年度を4000トン上回る1万3000トンと見込まれる。

2でん粉年度は、前年度を2000トン上回る1万5000トンと見通している。

【小麦でん粉の供給量】

令和元でん粉年度は、前年度からやや減少の見込み

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、令和元でん粉年度は1万6000トンと見込まれる。

2でん粉年度についても、安定した供給がなされると見込まれ、1万6000トンと見通している。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

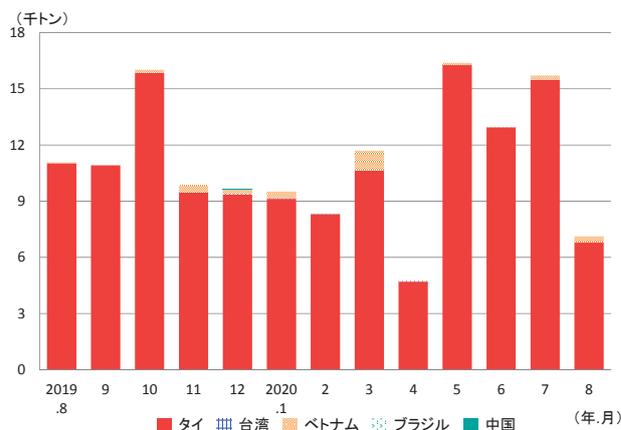
8月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2020年8月のタピオカでん粉の輸入量は、7120トン（前年同月比35.7%減、前月比54.7%減）と、前年同月および前月から大幅に減少した（図1）。

輸入先国はタイ、ベトナムおよび台湾の3カ国で、輸入量は次の通りであった。

タイ	6791トン
	（前年同月比38.4%減、前月比56.1%減）
ベトナム	323トン
	（同6.3倍、同49.3%増）
台湾	6トン
	（同2.2倍、同12.5%増）

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

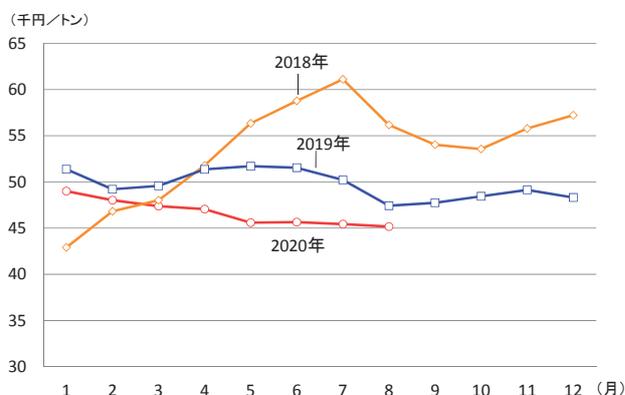
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2020年8月の1トン当たりの輸入価格は、4万5171円（前年同月比4.8%安、前月比0.6%安）と、前年同月からやや下落した（図2）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	4万4762円
	（前年同月比5.6%安、前月比1.0%安）
ベトナム	5万1208円
	（同9.5%高、同4.2%高）
台湾	17万4843円
	（同3.2%高、同51.9%安）

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

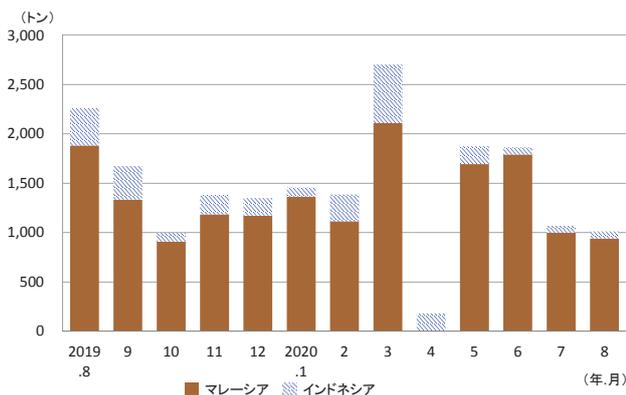
8月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2020年8月のサゴでん粉の輸入量は、1012トン（前年同月比55.2%減、前月比5.3%減）と、前年同月から大幅に減少した（図3）。

輸入先国はマレーシアおよびインドネシアの2カ国で、輸入量は次の通りであった。

マレーシア	940トン
（前年同月比50.1%減、前月比5.7%減）	
インドネシア	72トン
（同81.0%減、前月同）	

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

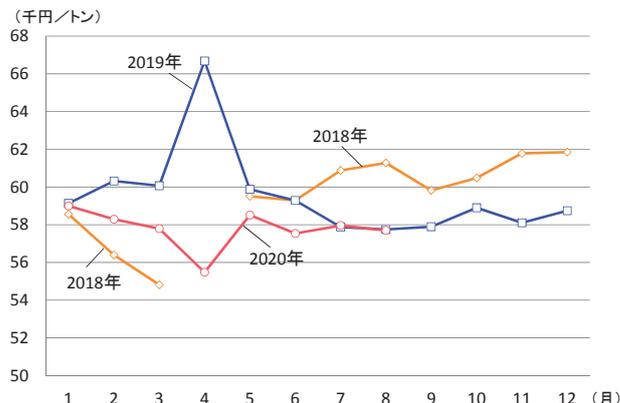
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2020年8月の1トン当たりの輸入価格は、5万7696円（前年同月比0.1%安、前月比0.5%安）と、前年同月と同水準であった（図4）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア	5万7973円
（前年同月同、前月比0.7%高）	
インドネシア	5万4069円
（前年同月比4.7%安、同14.1%安）	

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

注2：2018年4月のサゴでん粉は輸入実績なし。

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

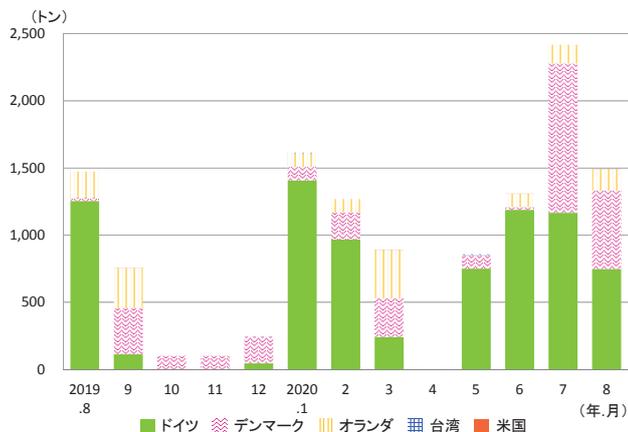
8月の輸入量は前年同月からわずかに増加した一方、前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2020年8月のばれいしょでん粉の輸入量は1494トン（前年同月比1.2%増、前月比38.2%減）と、前年同月からわずかに増加した一方、前月から大幅に減少した（図5）。

輸入先国はドイツ、デンマーク、オランダおよび米国の4カ国で、輸入量は次の通りであった。

ドイツ	748トン
（前年同月比40.4%減、前月比35.8%減）	
デンマーク	584トン
（同26.5倍、同47.5%減）	
オランダ	160トン
（同20.0%減、同14.3%増）	
米国	2トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2020年8月の1トン当たりの輸入価格は、8万8871円（前年同月比6.6%高、前月比6.5%高）と、前年同月をかなりの程度上回った（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

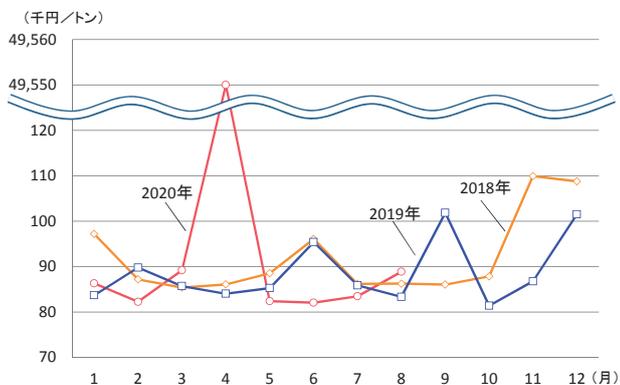
ドイツ 8万9937円
（前年同月比7.9%高、前月比9.2%高）

デンマーク 8万7889円
（同6.6%高、同3.6%高）

オランダ 8万5463円
（同2.5%高、同4.3%高）

米国 25万円
（前年同月および前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

8月の輸入量は前年同月からわずかに、前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2020年8月のでん粉誘導体の輸入量は、2万4852トン（前年同月比2.3%減、前月比26.0%減）と、前年同月からわずかに、前月から大幅に減少した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先国は19カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、ドイツとなっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先国および輸入量（8月）

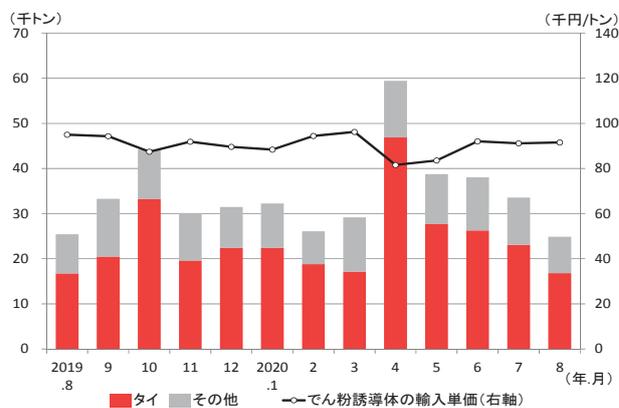
輸入先国	輸入量（トン）	シェア（%）
合計	24,852	100.0
うち タイ	16,823	67.7
ベトナム	1,696	6.8
ドイツ	1,151	4.6
米国	919	3.7
中国	873	3.5
スウェーデン	841	3.4

資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

2020年8月の1トン当たりの輸入価格は、9万1533円（前年同月比3.6%安、前月比0.4%高）と、前年同月をやや下回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

8月の輸入量は前年同月および前月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2020年8月のデキストリンの輸入量は、1120トン（前年同月比50.9%増、前月比40.2%増）と、前年同月および前月から大幅に増加した（図8）。

デキストリンの輸入先国は8カ国で、輸入量は上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、ベトナムで輸入量の約5割を占めている（表4）。

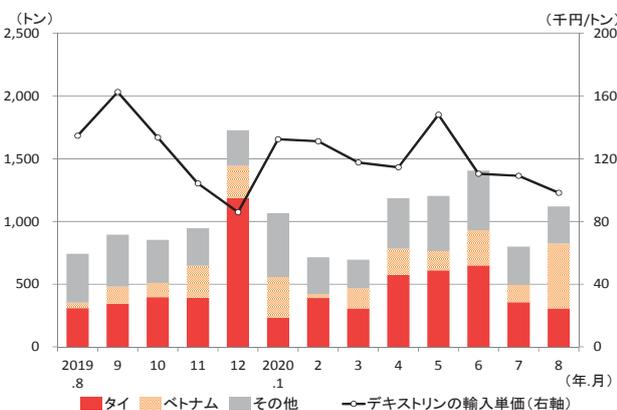
表4 デキストリンの主要輸入先国および輸入量（8月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア（%）
合計	1,120	100.0
うち ベトナム	518	46.2
タイ	306	27.3
マレーシア	76	6.8
ベルギー	69	6.2
米国	63	5.7
中国	56	5.0

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2020年8月の1トン当たりの輸入価格は、9万8218円（前年同月比27.1%安、前月比10.0%安）と、前年同月を大幅に下回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

8月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2020年8月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、22万1065トン（前年同月比16.3%減、前月比19.9%減）となり、前年同月および前月から大幅に減少した（図9）。

輸入先国は、米国および南アフリカの2カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

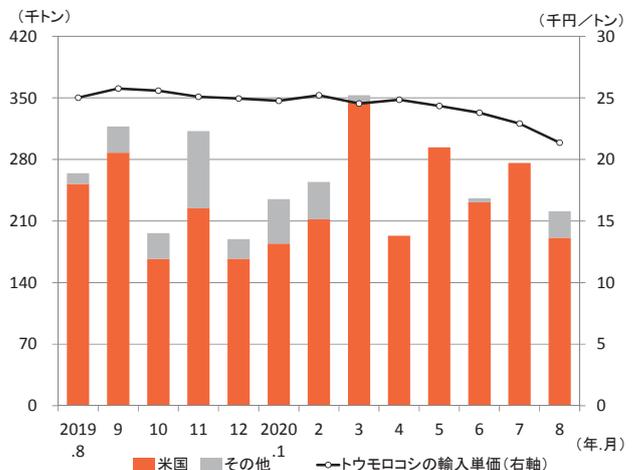
米国 19万1035トン
（前年同月比24.3%減、前月比30.8%減）
南アフリカ 3万30トン
（前年同月および前月輸入実績なし）

2020年8月の1トン当たりの輸入価格は、2万1366円（前年同月比14.6%安、前月比6.8%安）と、前年同月をかなり大きく下回った。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 2万1467円
（前年同月比14.5%安、前月比6.3%安）
南アフリカ 2万724円
（前年同月および前月輸入実績なし）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091